

大崎市民憲章

平成18年11月3日制定

恵みの森、奥羽山脈から湧き出る水は、大地を潤し文化の花をさかせます。
いにしえより伝統ある豊饒の地は、創造性に富む地域の力をはぐくみます。

私たちはここに生きる大崎市民です

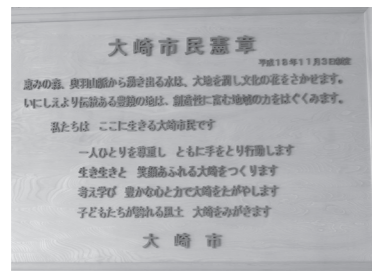
- 一人ひとりを尊重し ともに手を取り行動します
- 生き生きと 笑顔あふれる大崎をつくります
- 考え学び 豊かな心と力で大崎をたがやします
- 子どもたちが誇れる風土 大崎をみがきます

大崎市

大崎市民憲章解説

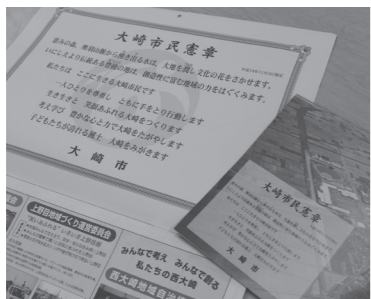
市民憲章は前文と本文で構成され、前文は恵まれた自然、豊かな文化、先人の築いてきた歴史と伝統への敬意と賞賛をうたい、大崎市の風景が浮かぶような表現としました。

本文は、市民が大崎市に生きる誇りや喜びを感じ、市民として責任を持ち、個人の尊重、互助精神、住民協働、安全・安心で快適な暮らし、人材育成や産業振興を希求し、先人から引き継いだ歴史や文化に磨きをかけ、次代を担う子どもたちが誇れる大崎市を創造していく。そんな思いが込められています。



木の色もりがあたたかい、木工系のご研究室の皆さんの手による憲章板は市役所本庁舎正面玄関に掲示。

また、市内公共施設や地区集会所など合計五九〇か所に「A2判額入り市民憲章」を掲示しました。
その他にも、式典での唱和や会議資料への印刷等を実施



まちづくり協議会が作成したカレンダー（左・岩出山、右・鹿島台）にも掲載。

事業所などに市民憲章の掲示を希望される場合は、市民憲章の印刷物（A2）を準備していただきますので、まちづくり推進課までご連絡ください。

11月は「大崎市民憲章」の制定月です

平成十八年十一月三日の大崎市開市記念式典において、大崎市民憲章が制定されました。市民憲章とは、大崎市に住むすべての市民の基本的な規範、指針となる宣言です。市民憲章制定月にあたり、改めて大崎市民憲章をご紹介します。

まちづくり推進課 地域自治担当・NPO担当 ☎235069

市民憲章が、より多くの市民の皆さんに親しまれ、行動の規範となるように、市では普及啓発に取り組んでいます。昨年十一月には、市役所本庁舎正面玄関に「木製市民憲章板（製作者・大崎市古川リサイクル展示館 木工系のご研究室）」を掲示しました。

しているほか、今年度は市内の中学生に市民憲章入りのクリアファイルを配布します。また、岩出山まちづくり協議会発行の「年度行事予定表」、鹿島台まちづくり協議会発行の「みんなのカレンダー」にも印刷されるなど、地域でも市民憲章普及のための取り組みが行われています。

大崎市のまちづくりをどう思いますか？



★施策に対する市民ニーズの点数化結果
市民ニーズの高い上位4つの施策のうち、3つの施策が雇用・企業誘致に係わるものとなりました。

市が行っている行政サービスについて

大崎市総合計画基本構想で示した、「市民が主役 協働のまちづくり」「安全安心で 交流が盛んなまちづくり」「地域の個性をいかし 豊かな心を育むまちづくり」「活力あふれる産業のまちづくり」「地域で支えあい健康で元気なまちづくり」「自然と共生し 環境に配慮したまちづくり」の目標、三十項目ごとに満足度、重要度を伺いました。

調査の結果から

今回の調査の結果からは、合併により新たな枠組みとなった本市での、多様な地域特性・課題への対応や、防災・防犯対策、行財政改革の取り組み、老後の生活不安の解消、働く場の確保などといった、市民の皆さんの「安全に安心して暮らせるまちづくり」への強い期待が伺えます。今回紹介した結果は、調査の一部であり、詳しい報告書については、

問 政策課政策企画担当

☎2129

市政課、市政情報センター、各総合支所市政情報コーナーで閲覧できるほか、市のホームページにも掲載します。
市では、調査結果についてさらに分析を重ね、各分野の施策に反映するなど、より市民の皆さんが満足できる行政サービスの実現を目指し、まちづくりを進めていきます。

市民の声(自由意見から)

今回の調査では、合併してよくなったことについては五八二件、悪くなったことについては九三五件、自由意見は九七五件の意見が寄せられました。その一部を紹介します。

- ▼合併して市と住民の距離が遠くなった。
- ▼地域格差ができていくと思う。
- ▼どうして毎年保育料が上がるのですか。
- ▼広報の内容に地域の情報が少なくなりました。
- ▼駅前や商店街に木を植えて緑の街にしてほしい。
- ▼鳴子温泉を全国に向けて宣伝するべき。
- ▼子どもの医療費を12歳まで無料にしてほしい。
- ▼障害者の自立、就業支援をお願いします。
- ▼巡回バスを走らせてほしい。
- ▼旧古川市中心的構想から脱することができないものか。
- ▼財政が厳しいことの具体的な説明を時間をかけて行っていくべき。
- ▼将来計画展望も含めて。
- ▼学校の統廃合は慎重にしてほしい。
- ▼「身の丈」を知った上での地道な政策をお願いします。
- ▼地域の特性が最も生かせるような行政を。
- ▼街から外れると防犯灯がなく道路が暗い。
- ▼子どもの帰りが遅いときはとても心配。
- ▼大崎市は子育てをするにはとても住みにくい市だと思つ。
- ▼情報公開が十分でないと思つ。
- ▼地域にも充実した図書館がほしい。
- ▼20万都市を目指すのではなく、住環境を充実させる行政をお願いします。
- ▼大崎ブランドの農産物作りを積極的に進めてほしい。
- ▼若者の働きやすい環境を整え、女性でも働きながら子育てできるようにしてほしい。